



ブライトドツヤイン

~白濁中毒剣士の再臨~

サングリア宮殿

R-18

本編32ページ





この施設を
放棄する

!!

しかし!

不測の事態だ
貴重な人員を
失うわけには
いかん

ゴゴゴゴ



退避を急げ

…はっ

ハッハッハッ

何故だ
力は封じておいたはず
それに



助けてくれええ!



あの姿は…

うわあああ!

そっまでよー！

お前は…

シャインセイバーだと！
なぜここに！





地獄から
帰ってきたのよ！



ありがとう
シャインセイバー！



戻ってきた！
本物だー！！

ありがとう！

カ
ク
ッ



敵に捕まり
改造を受けた
私の身体は

戦うたびに強い渴きに
襲われるようになった
交配実験のため
埋め込まれた
核が原因のようだ

はー
はー
はー

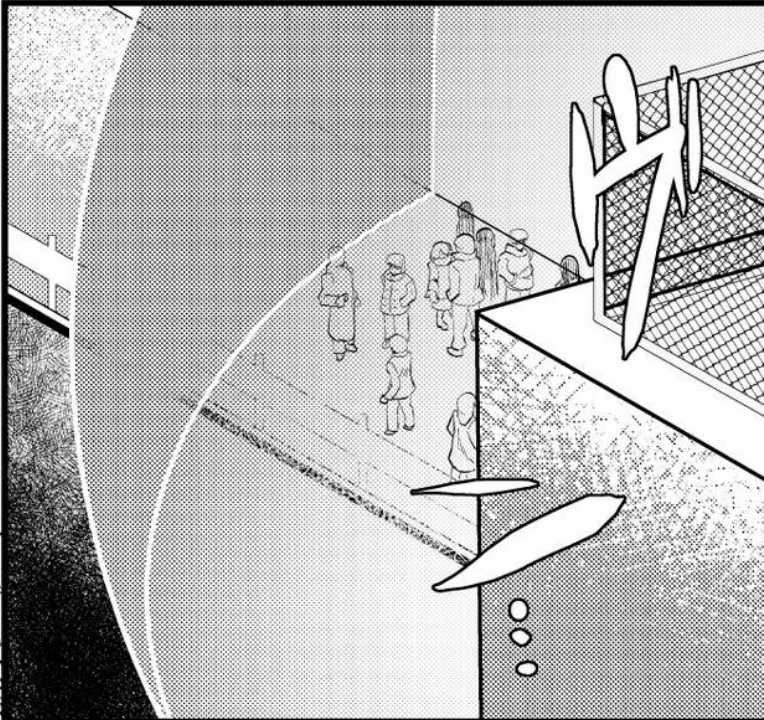


ダメ……
やっぱり疼きが
抑えきれない……

少しだけ……
ほんの
ちよつとだけ……



以来私は戦闘の後
性的な快感と——
男性の精液を求めた



4……いや
3人……くらいで



時間と空間を
隔離する結果

この中でなら
時間の経過が遅く
ここでの記憶も
人間には残らない

ごめんなさい……

おや？
ここは…

大通りに
いたはずじゃ？

なんなんだ
ここは…

あの、
初めまして…

じつは皆さんに
お願いが
あります…

え？
シャインセイバー？

本物？
ウソでしょ

あつ…
ここは
皆さん以外には
認識されない
空間となっております

それで…
ですね

あの…
お願い
というのがですね
みなさんの…
せ…精液をですね

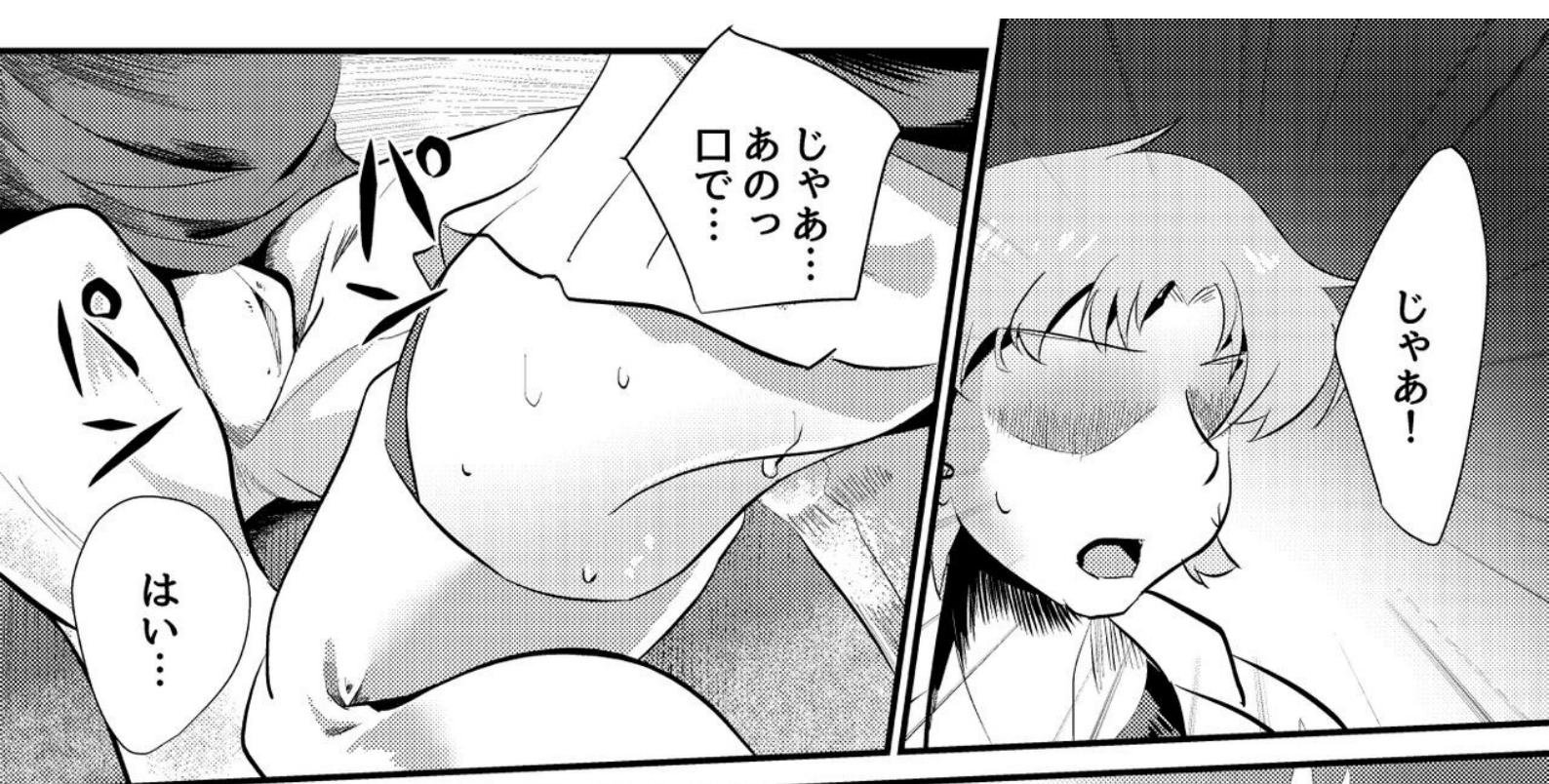
提供して頂ければ
と思ひまして…
その… えと…





なっ なんか
息荒いけど
大丈夫?





これっ…

ちゅっ…

か…

これっ!

ぢゅるん!!

ニオイ…
どんだん
濃くなってー

ペースが
抑えられない!

すはっへい

おっ…あっ

す…吸っ—!!
おおお…!!

胸っ…
胸も良いですか!?

んはめ

はい…

脈が大きく
もうすぐ…
精液…

これで
精液が—!!

ちゅっ…



夢みたいだ
シャインセイバーが
僕の――



柔らかかつ…
すげえ…あつ！



そんなに
激しいと…っ

すつすつぐに――
おつ…!!
ああつ――!!



わっ私も！

はあ



俺も…手で
してください！

えっ

ありがとうございます
ございます…

我慢せずに
遠慮なく

好きな
ところに

かけて
くださいね

すごい…

こんな
必死に…

うわぁ…

舌が
さつきより
激しく…!!

も…
もうっ!!



おっおれ
…もう!

あつ!



ああ…
もったいない

えっ!?

はむ

どろおろ



ええ

また又いて
ください!

まだまだ
イケそうだ!

ぜんぜん
治まらない…

沢山…
かけてください



お口

トビ

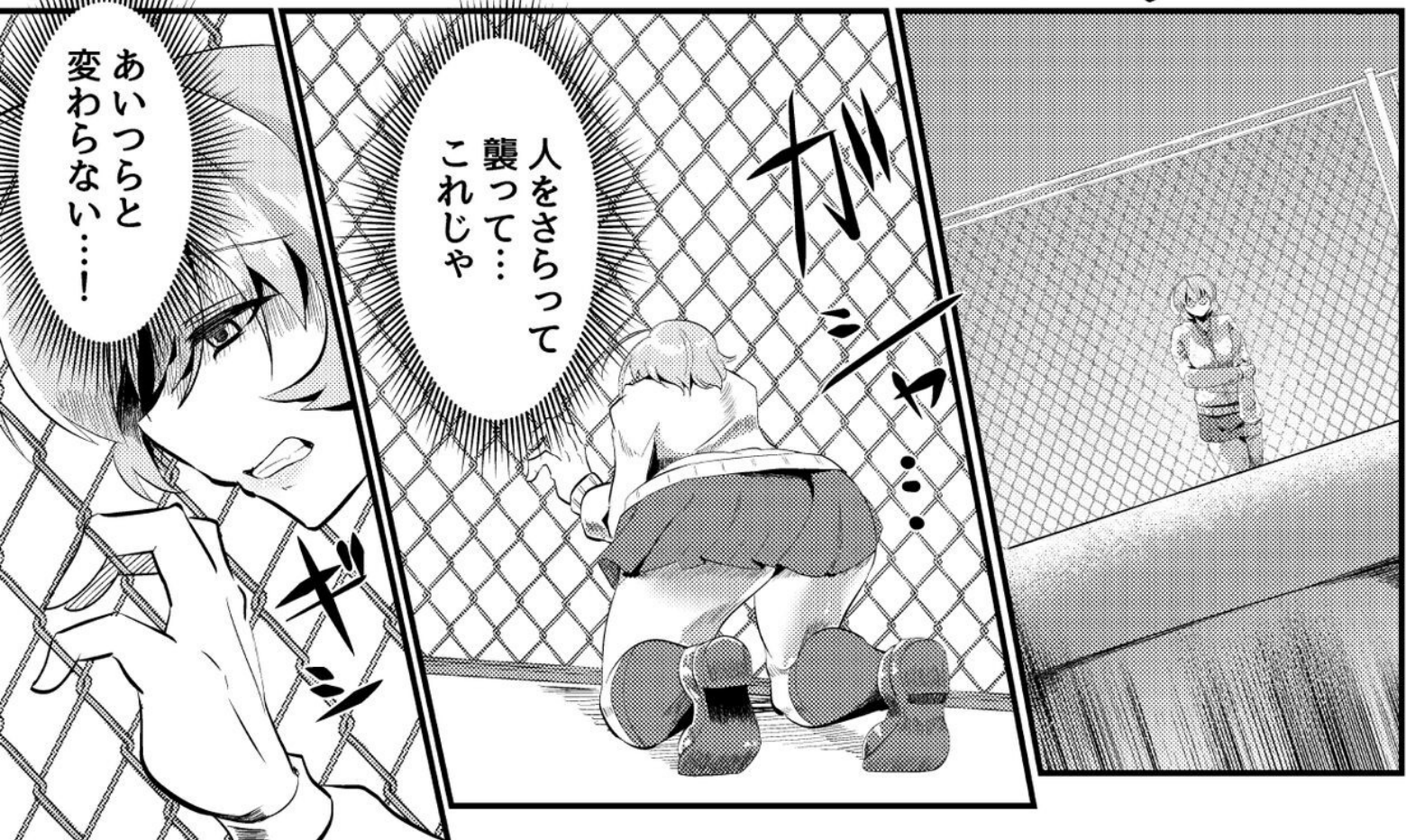
あ...

また
勃つてきた...!!

いいですよ
射精したいだけ

何度でも

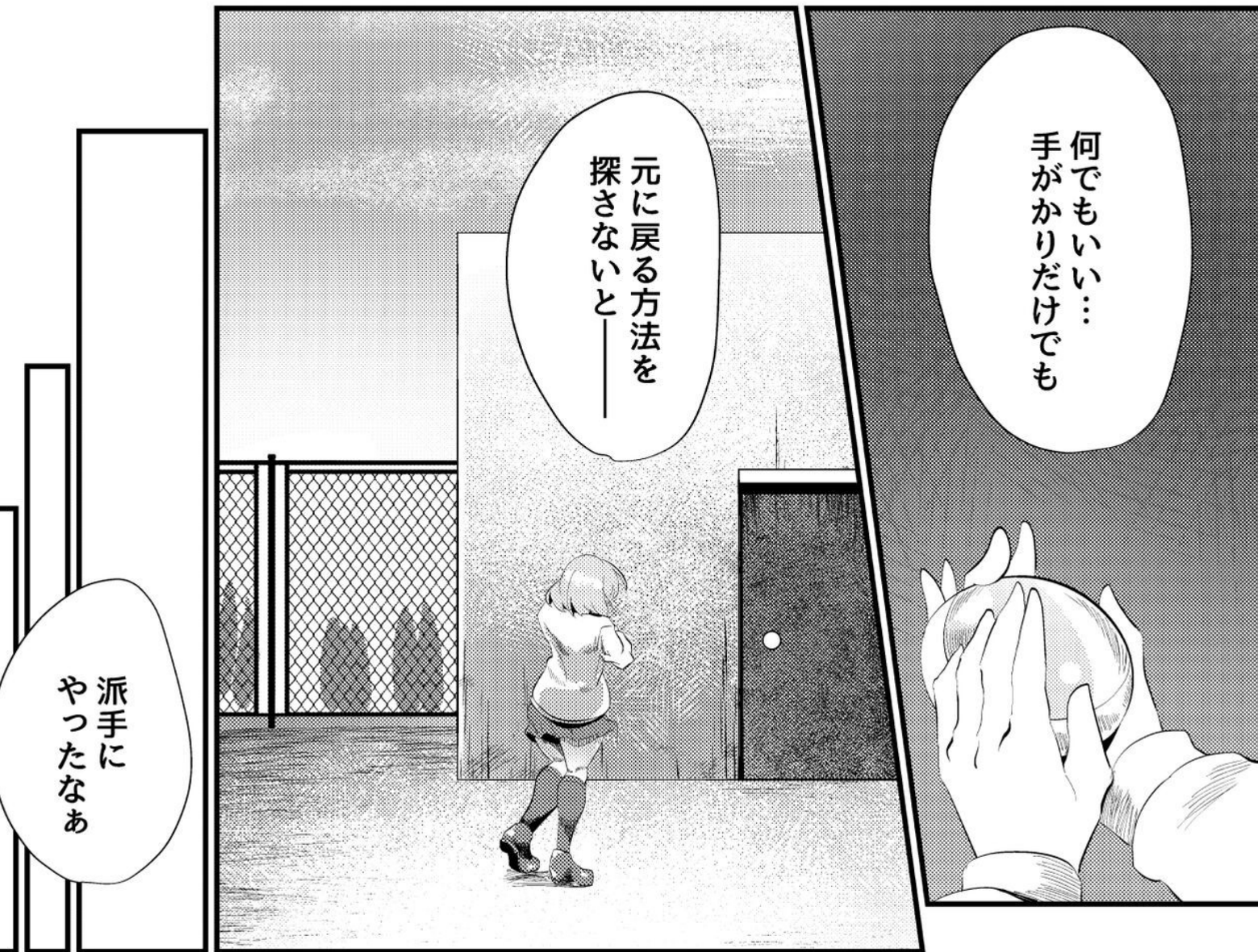
全部：
受け止め
ますから—





変身するたびに
このありさま――

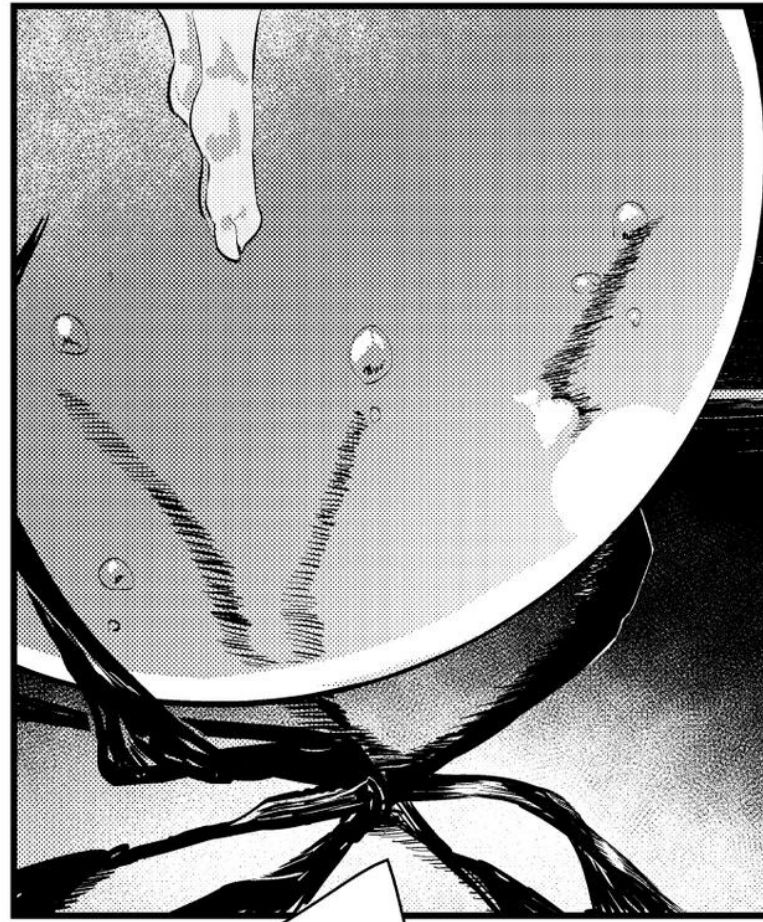
いつまでも
放っておけない……!!

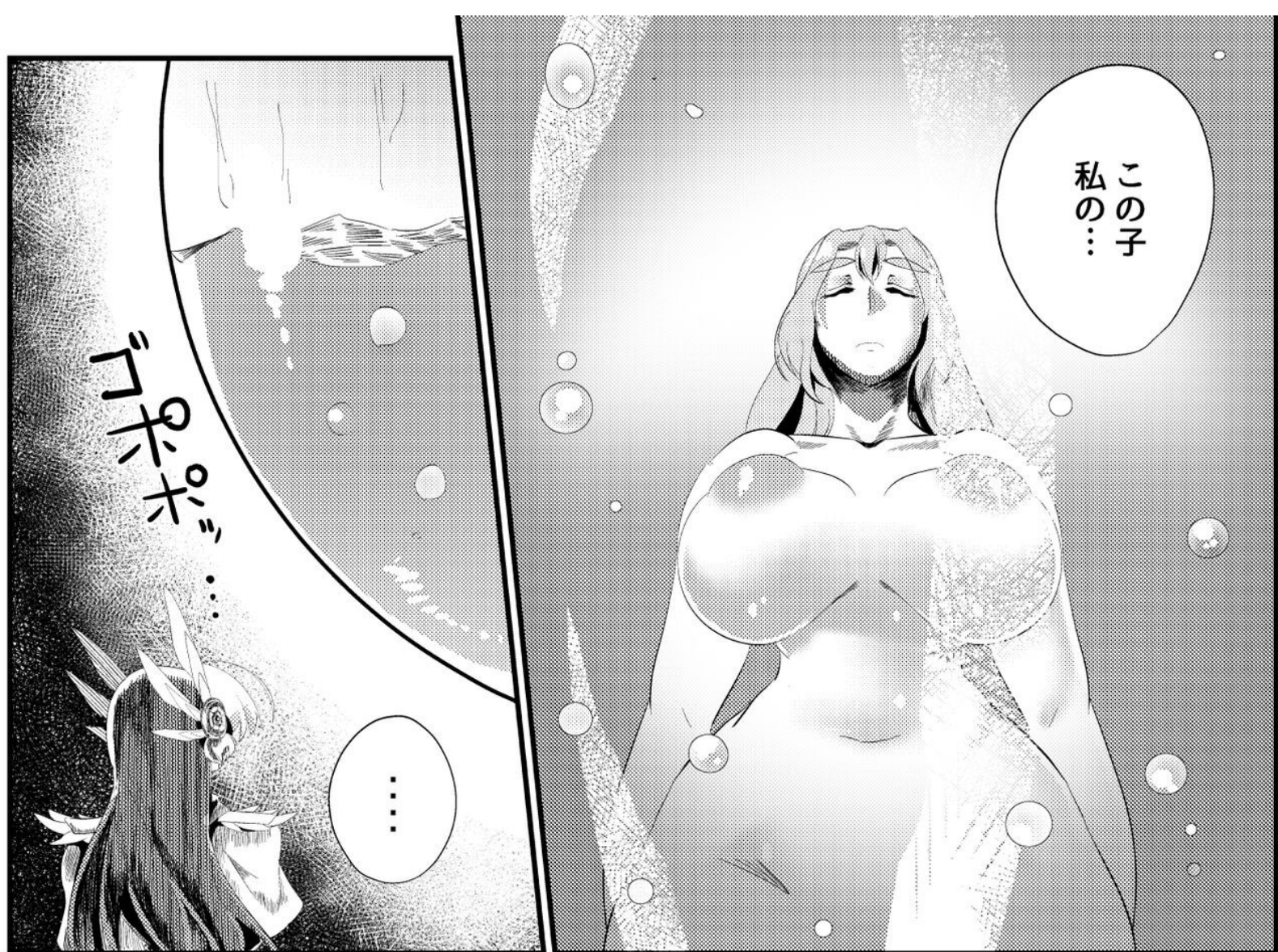


何でもいい……
手がかりだけでも

元に戻る方法を
探さないと――

派手に
やったなあ





この子
私の:

ゴホホ...

...



模倣個体...
私を量産する
つもりだったの？

...



処分したほうが
良かったんだろうな

治す手立ても
見つからなかったし

何してんだろ...



…っ
もう発作が!?

三人も：
あんなに
もらったのに



変身する度に
間隔が短くなって…



少しの間だけでも
鎮まれば…

い…今の…
マズい…?

でもっ…
このままじゃ
動けないし…



直接接触すると
ますます…

あっ…

ダメ

じゅわん

じゅわん

急いで…
済ませれば…

すぐ
終わらせれば…



三本…も…
イれちやった…

じゅわん

じゅわん

おん

おん



う…そ…



さつきは
そんなの…



無かつ…!?



なんて力…!?
身動きひとつ
できないなんて…



おん...
おん...



こんなに
気持ちいいなんて
生まれて初めて…

アッアッ

おん
おん

おん
おん

抗えない…

得体の知れない
この子の精液が――

おん
おん

おん

おん
おん

欲しくて
堪らない

おん

おん
おん

これ：
この状態で
射精されたら…

奥に：
奥に届いちやう！

あ

あ

あ

怖い…

膣内だけは
絶対…ダメ！！

でも…

あ

あ

でもお…

あ

ん



駄目…っ
想像したら…
変な声出ちゃう

あんんん
あゝんんん
あゝんんん

あゝんんん
あゝんんん
あゝんんん

こんな
おねだり
みたいな声



出すなんて—



出…た…
はつきりわかる…
この子の…キク…

あゝ

おま

ぬる…

あゝ

終わっ…た…



いつたい
何なのこの子…

立って…
逃げなきゃ…

ゴロ
ゴロ



う…
嘘でしょ

全然
萎えてない!?

まさか…

ぬ

ま



まだ
する気なの!?

クキ
クキ

クキ



ダメえ...

おっ♡

逃げなきや
いけないのに



ひと突き
されるたび
凄いのが!!!

おっ♡

すごっ…
濃お…おおお

あ…
ひっ♡

もうだめ…
意識が…

くらっ…

グッ
ホッ



つまりその
補給係っこと？

それと
性欲処理です

せつ

わたくしのチンポは
お母様のマンコに
適した形状に
作られています

うん
言い方
考えよ？

くるん

♪

フリ
フリ

他に
役割は？

地上に害は
無さそう…か

とりあえず
お母様は
やめなさい

ありません

わたくしは
お母様専用
チンポですので

では
お姉様！

まあ…
いいか

おっ